

□議員名：改進 河崎 平男

1 山口東京理科大学を活かしたまちづくりについて

論点	大学と産学官の連携による付加価値の創出はどのように考えているか。
回答	企業と大学との共同研究や受託研究、企業でのインターンシップや教育プログラム、共同開発による人材育成、大学による技術指導や技術相談、大学の知的資源を活用したベンチャー創出などである。

論点	南部地域の土地利用構想はどのようになっているのか。
回答	山口東京理科大学の周辺は、第一種住居地域や第一種中高層専用地域などの居住系の用途が設定されており、今後も、よりよい住環境が形成されるよう、公共下水道などのインフラ整備を推進していく。

2 スポーツ交流施設とレノファ山口との連携について

論点	今までの経済効果はどのくらいか。
回答	経済効果の算出は数値として示すのは難しく、昨年度の練習公開日には、一日30人から40人のファンが来場され、食事や買い物などの経済効果があった。レノファ選手、家族を含めて8人が居住され市内消費による経済効果があると考えます。

3 観光資源を活かしたまちづくりについて

論点	本市には観光資源が数多くあるがどのようにまちづくりを進めるのか。
回答	平成27年度からの5か年計画で観光振興ビジョンに沿って、観光資源の魅力向上と利活用を掲げ重点エリアを設定し推進していく。

論点	観光資源の周辺整備や案内所が不足しているが、整備により交流人口の増加になるがどのように考えるか。
回答	観光案内の整備は、今年度観光関連事業者ミニ観光案内所20か所ぐらいの「おもてなしサポーター」を依頼する予定である。

4 高齢者対策や買い物難民や病院利用者等の交通手段について

論点	地域交通対策としての整備はどのようになっているのか。
回答	現在、本市地域公共交通網形成計画を策定して「市民の日常生活における交通手段の確保」を掲げており、地域における移動ニーズに合った公共交通網の構築が図られるよう推進していく。